

# たぶせの子育て応援団

## ～ 子ども食堂『らぶちゃん』～



『子ども食堂「らぶちゃん」』は、安価で食事がとれ、子どもが一人でも安心して過ごすことができる食堂で、子どもたちと地域の方々をつなぐ場所として、生まれました。

今回は、『子ども食堂「らぶちゃん」』でボランティアとして参加されている人にお話を聞きました。『子ども食堂「らぶちゃん」』はボランティアとして参加していただける人や食材提供の受け付けをしています。詳細はお問い合わせください。

◇開催日時 毎月第2土曜日 午前11時～午後12時30分

◇場所 麻郷福祉会館

◇対象者 町内18歳以下の子ども、保護者(1人)

◇問合せ先 田布施町社会福祉協議会 ☎53-1103

## ＝ 子どもたちと地域の方々をつなぐ場所を目指して ＝

子ども食堂『らぶちゃん』のコンセプトを教えてください。

今は新型コロナウイルスなどの影響もありますが、外に出て遊ぶところを見ることが少なくなりました。

そこで、子ども食堂『らぶちゃん』で「安心安全な食事を通して子どもたちと地域の方々の交流を図るための場所(居場所)があればいいな」という思いでできました。誰でも来ることができ、コミュニケーションの場といった感じに思っていますね。

子ども食堂のボランティアに参加しようと思ったきっかけを教えてください。

この子ども食堂が立ち上がったときにお声がけいただいたのが始まりです。

はじめに「田布施町にも子ども食堂があったらいいね」といった話になり、「私もボランティアやっているから、参加するよ!」と話をしてから具体的に決まった感じですね。

まずは、人手が必要ということになって、知人にお声がけをしていき、皆さんの協力のおかげで何とか始めることができました。今後は、新しいボラン

ティアさんが参加されて、いろいろなところで子ども食堂ができればいいなと思っています。

ボランティアをされてきてよかったことや嬉しかったことがあれば教えてください。

「カレーを作って楽しい!」そこにつきましますね。みんな楽しく作ってるし、月1回の集まりだからそんなに負担は感じません。

何度か来ていただいているご家族からは、「美味しかったよ!」といった声や「子どもが苦手で食べることができなかった、野菜が食べられるようになりました」という話も聞くことができました。そういった感想を聞くことができる嬉しいですよ。食材も多くの人からいただき、「じゃがいもがいつぱいできたから持ってきたよ」という人もおられます。

食材の提供は誰でもできるのですか?

「家庭菜園で人参がいっぱいできたんだけど、食べてくれると思って持ってきました。」という人でも食材の提供は、受け付けています。

最近では「広報の『ご芳志』

## ▼ご協力いただいたボランティアの皆さん



で見たんですけど」ということで、提供していただくこともあります。

最初は情報が行き届いていないため、食材が集まることは少なかったです。2回目からはばち集まり始め、3回目になるとお米も多くいただくようになり、大変助かっています。

将来展望をお聞かせください。

今は開催場所が麻郷福祉会館だけです。麻郷地区や東田布施地区、西田布施地区のご家庭がメインとなっています。

子ども食堂の需要もありますので、今後は町内のいろいろな場所に「子ども食堂」が広がってほしいなと思っています。